

令和4年12月吉日

(一社)香川県理学療法士会

(一社)香川県作業療法士会

(一社)香川県言語聴覚士会

香川県地域包括ケアシステム推進委員会

委員長 前田 匡史

第8回 香川県地域リハビリテーション合同研修会のご案内

拝啓 寒冷の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は香川県地域包括ケアシステム推進委員会の活動におきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度 第8回 香川県地域リハビリテーション合同研修会を開催する運びとなりました。

2022年も残すところ1カ月を切り、超高齢社会を迎える2025年が迫ってきます。雇用や医療、福祉といったさまざまな分野へ多大な影響を及ぼすことが予想されています。そこで、リハビリ専門職として地域リハビリテーションをこれからどのように展開していけば良いのか、どのような備えが必要なのかを考える機会として「2025年を間近に控えてすべきこと」を研修会のテーマとしました。その答えを導くヒントは、現在、地域で活躍されている実践者からお話をいただくのが一番と考え、作業療法士の木村基先生にご講演をいただきます。木村先生は、大阪を中心に、アート活動を通じて障害のある子どもと一緒に生きてきた暮らしの一部として地域で活躍されています。その実践に至った経緯や行動する上で大切なこと、注意しなければいけない点などを交えてご活躍の内容と参加者が、地域がどのように変化したのか、そして我々がこれから地域への一歩をどのように踏み出せば良いのかなどについてお話をさせていただきます。

リハビリ専門職としての経験を積み重ねるほど、それぞれの職場における対象者の自立した生活行為の獲得といった個人に目を向けたサービスからその対象者を取り巻く社会への働きかけの重要性を意識されているのではないかと思います。それが制度の改正や新制度の誕生に表れ、マンパワーや職域の拡大につながると考えられます。しかし、その変化を生み出すためには、小さくても実践が大切です。微力ながらリハビリマインドを持って、まずは自身の住み慣れた地域で、地域リハを意識した地域づくりに寄与したいと思う方は決して少なくないと考えます。私個人に何ができるのか自問自答をされる方やそこまで考えていない方にとっても今回の研修は、地域で活躍することの意義や大切さ、さらにその実践の必要性を考える機会になると信じています。

一緒になって良い刺激を受けてみませんか。

業務ご多忙のことと存じますが、皆様にはご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

第 8 回 香川県地域リハビリテーション合同研修会 実施要項

講演テーマ：2025 年を間近に控えてすべきこと ～地域で活動してみよう！障がいのある子どもとアート活動～

講師：木村基(キムラ ハジメ) 先生（作業療法士 大阪発達総合療育センター あさしお園）

日時：令和 4 年 1 月 27 日（金）19:00 ～ 21:00 （受付 18:30 ～）

会場：リモート形式(Zoomを使用)

参加費：無料（通信費は自己負担）

対象：香川県内の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・学生 他、職種を問わず講演内容に興味のある方

申し込み・問い合わせ先：阪本病院 リハビリテーション部 松下 E-mail:kagawatiiki@gmail.com

メール表題を「香川県地域リハビリテーション合同研修会申し込み」とし、①氏名(漢字とフリガナ)②職種③所属施設④メールアドレス(キャリア(携帯)メール以外)⑤協会 ID を記入の上、上記メールアドレスにお申込み下さい。

また下記 QR コードでも、お申込みいただけます。

